

変位抑止型アンカー(低N値耐力補強)

# Cロックアンカーシステム

本来、パイプアンカーの計算値では使用できなかった軟弱地盤でも、サブアンカーが効果的に抵抗することで変位を抑止し、例えばN値5と同等以上の耐力を発揮するアンカーシステムです。  
このシステムは、現地引張試験によって耐力を求めます。

## TSK Cロックアンカーシステムの特長

土砂部用アンカーの耐力を最も左右する地表面から0.5~1m付近の深さへサブアンカー設置することでアンカーの受圧面積を広げ、サブアンカーが外周方向へ広がる様に荷重を分散し、メインアンカーを補強します。

メインアンカーとサブアンカーの間に「V型スペーサー」を設置し、アンカー同士の接触点を「面接触」とすることで変位が直線的となり、変位量を効果的に抑止します。

サブアンカーには「ストッパー材」を備えることで、サブアンカーの横方向に対する変位量を規定し、メインアンカーの変位を許容変位内に抑える機能があります。

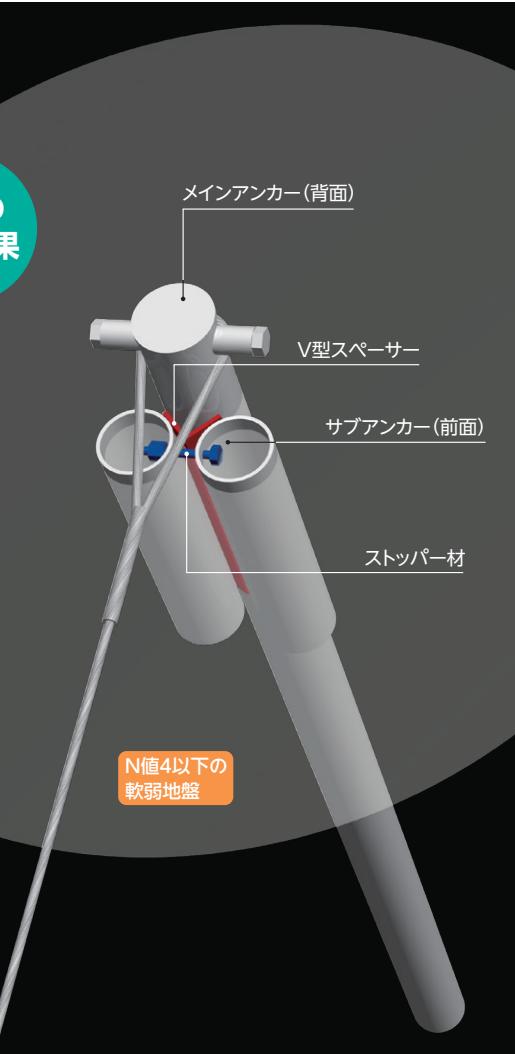
「サブアンカー」の設置は、メインアンカーの設置と同じ機材を使用するため施工性が高く、機材の共通化を行うことで法面作業の負担の軽減に貢献します。

耐力の補強効果

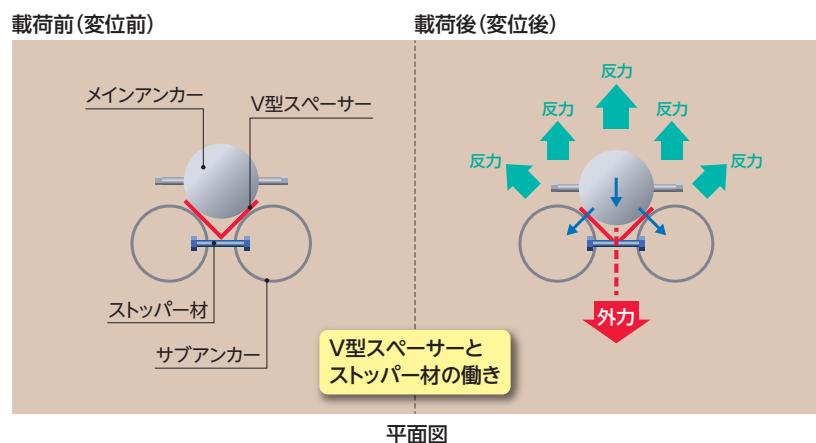
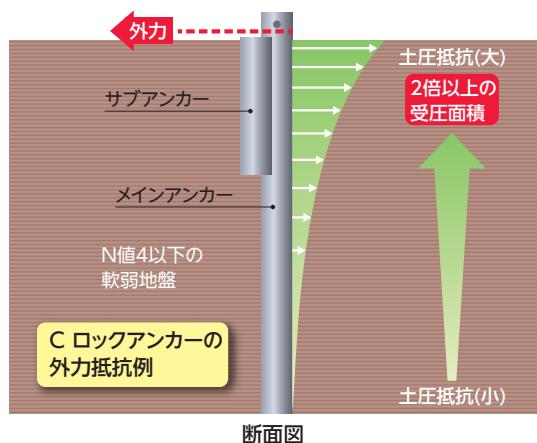
変位の抑止効果

信頼性の向上

施工性の向上



## サブアンカーの耐力的役割



## TSK Cロックアンカーシステム 施工方法 (標準的な施工手順)

1 サブアンカー用穿孔アジャスターの設置



2 サブアンカー用センタリング治具の取付け



3 サブアンカーの設置



4 スッパー材の設置(ロック機構)



5 V型スペーサーの設置

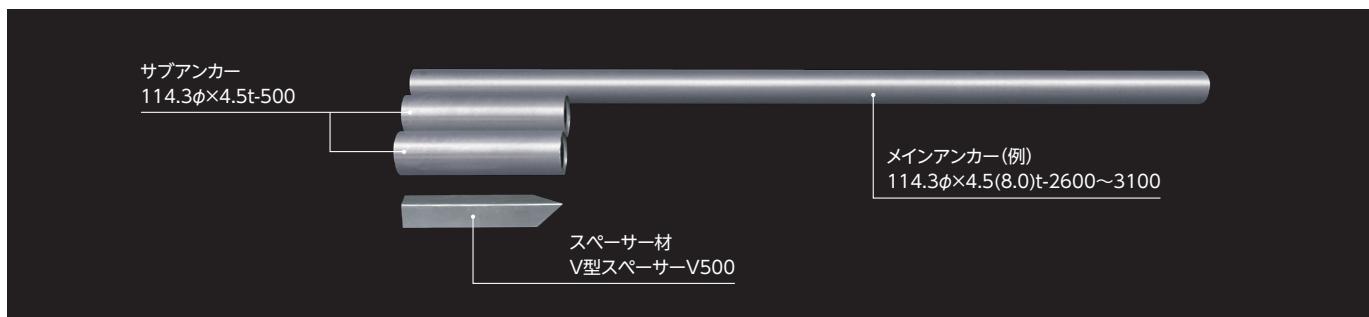


完成 | 写真は(リングスペーサー有りタイプ)



※サブアンカーのレイアウトは、現地の地質条件により変更する場合があります。

## 一般図 型式:TSK\_CL-1150W



## 規格表

### TSK Cロックアンカーシステム

| 形式・名称                      | 規 格   | サブアンカー<br>設置本数 |
|----------------------------|---|----------------|
| TSK_CL-1150W <sup>※1</sup> | 114.3φ×4.5t-500(1000)<br>L-80×80×6t-530(1030) | 2本             |
| TSK_CL-1350W               | 139.8φ×6.0t-500(1000)<br>L-80×80×6t-530(1030) | 2本             |

| 参考耐力<br>(N値4, 最大変位量15mmとした場合 <sup>※2</sup> )  |
|---|
| ≈25kN   |
| (構成: メインアンカー 114.3φ×4.5t-2600<br>サブアンカー 114.3φ×4.5t-500×2本<br>V型スペーサー L-80×80×6t-530) |

※1: TSK CロックアンカーシステムはTSK\_CL-1150を基本形式とし、耐力試験によってサブアンカーの長さ及び外径を変更します。

※2: 実施工では供試体を設置し、軸直角方向引張試験を行い変位量および耐力を確認してください。

●アンカー規格・仕様は、予告なく変更することがあります。

## 東京縛繩株式会社

エンジニアリング事業部 札幌支店

〒060-0807 札幌市北区北七条西5-5-3(札幌千代田ビル)  
TEL.(011)726-3210 FAX.(011)726-3215

URL <https://www.tokyorope.co.jp>  
カタログ <https://www.tokyorope.co.jp/product/eg>

## TOKO 北海道トーコー株式会社

本 社 〒060-0807 札幌市北区北七条西5-5-3(札幌千代田ビル)  
TEL.(011)726-3185 FAX.(011)726-3215  
URL <http://hokkaido-toko.toko-techno.com/>